

HP
DIGITAL

DIGITAL COLORED COMICS

3

SHUEISHA



PART 2 十三組の十三人編

原作：西尾綾新 漫画：曉月あきら





だい 39 箱
第39箱

アブノーマル
「異常の自由のために」







かいつ!?



阿
吟
!!

















そして実は俺は
こつちの方が
得意なんだ

こうして寝ちゃえば
上下の差なんて
関係なくなるよ









アブノーマル
古賀いたみは

改造人間で
あるっ♥



なっ！

こんなのー
超能力ーっ！

アラスコ計画経過
を重大な
事だ

人体改造が
俺の身体だ

脳内・神経・神経から
細胞・呼吸器・消化器系に
至るまで

古賀ちゃんのエロいボディに
人の手が入ってねえ
場所ねえのさ！





その様子で
さりげなく

俺も
手前とさすべし
なまじりてー

手前もんなら
馬いせが

王蛇の真似
おーん



二年十三組
古賀いたみは
改造人間である！

カンナ・マコ
黒田さくら

お前が何者か
知らないのか!!



早くも
改造人間は
サイボーグだよ

早くもサイボーグ改造が
好きなんだ

お前が何者か
知らないのか!!

お前が何者か
知らないのか!!



挨拶代わりの

ライダー
キック!!

第40箱

「どこにだって現れる」



うっ

うおおおおっ

床がつ...
崩れっ...



あーもう
宮内ちゃんばよー

あそびも無いで
アッアッ助助とかよー

それこそ
昭和のキマタだろ
しよーがねーな



けとまあ
こうしていろと
悪いはず

宮内ちゃん
とあつた
中々、
半生の
ワリ時代をよー



「あーいた本は
普通でいい
おもしろい
おもしろい」

「また
「十三年の十三年」の
一冊でありながら」

しかし
「アラスカ計画のメンバーの中で
ただ一人」
生まれての
アラスカで生きている

「平均身長
平均体重
平均体質
平均体質」

「アラスカで生きている
必ずびつたり
平均身長を測る」

「アラスカの地味な
全体的に平均的な
全体的に平均的な
全体的に平均的な」

「おは
おは
おは
おは」

「そして、そんな
彼女が、そんな
彼女が、そんな」

「こうして、普通
普通」

「ふーん
世界って」

「普通のことしか
起らないんだね」

正義のヒーローは
いないし
夢の結末はとも
存在しない

「僕は生きてこないし
中絶人は死ぬてこない」

ゆめやうもやなこをなぞ
顔こらない

「何もかもが
夢」

「夢の結末はとも
存在しない」

「僕は生きてこないし
中絶人は死ぬてこない」

「何もかもが
夢」

「僕は生きてこないし
中絶人は死ぬてこない」

「夢の結末はとも
存在しない」

「何もかもが
夢」

「世界には
夢の結末はとも
存在しない」

「自分には
夢の結末はとも
存在しない」

「中絶人は死ぬてこないし
中絶人は死ぬてこない」

「ゆめやうもやなこをなぞ
顔こらない」

「何もかもが
夢」

学校一の
いじめられっこ

名瀬天歌との
出会いによって。

彼女は異常なまでに
溺愛されていた

彼女は
異常なまでに
孤立していて

彼女は
異常なまでに
異常だった



名門大蛇は
最高級から学校を
支配下に置いていた

そんな圧倒的な
存在感をもってして



実際それは
いじめの者を懲らした
お姫を悪戯である

「お姫」も
「学校長」も
「お姫」も

悪戯ではなく
悪戯でもなく

特殊な忍術から
作り出される
加害者の感情を呼びだした



それでも
言葉の足は

言葉の力は
真意に對したのだうか



「お姫」の時点では
言葉は何も知らない

名門が「お姫」を支配にして
「お姫」が「お姫」の
世界を支配することはお姫が

「お姫」の名前を
知らなかった

お願い

私を
実験動物にして

古語云、平んは
まじまじも言ひ
女の手だつたけどまじ

● 同様に耐える
● 同様に悩んだ経験
● 同様に上を

生！ 夫の腹がぬくと
地の底面にやぶと切れたがうた
だめうけまう！



「江國は、大體、己の
腹で、身にならぬ」

このまゝ置きたら
別で
現にしようだけよ――



俺の地下四階は

そして
この部屋は

まあ
改選手習室つて
ところだな



神皇正統記

[illegible]

彼は平素もその肉体的に優れた選手を近くから観察するために十一歳に入れてもらつてたのだなんだよ

「さあ、さういふことは、おれはよく知つてゐる。さういふことは、おれはよく知つてゐる。さういふことは、おれはよく知つてゐる。」

西曆一九二九年

ライダー ジャーンプ!!





俺の破壊は



俺の破壊は

俺の破壊は
俺の破壊は
俺の破壊は



目の毒だから!!

卷之四



いくら強欲が導きつつても
その強は現代風通じやあ
るに平中の願ひ手のはず
じや——



電話：02-2652-1111
傳真：02-2652-1112

100

高麗丸やんが
 船中人だつと見えて
 船の機から船の機に船中船中
 船中をく船中をく

平國正智

「そーい、お、貴族の面が
よく通じたのも
型破りなんでしょう」

心したつて一箇に
歸お歸ぬものこそ
ましまくりじやん

海が響くともほらと
 風は船を
 定めてぬゝのまな甲







僕は変態だ

パンツをはいた
女子がいるなら
どこにだって現れる!!



大抵の女子は
パンツをは
いてるよ



アハハ

看叮——



私服。

そして最後に
「心を奪われる」。

異常として
変態ノ

僕こそが箱庭学園
旧校舎管理人
黒神真麻だノ

以後
お見知りおきを!!

ビ
ミ
ッ



第41箱 「俺より上なのは」











しまっ……

お前やんの笑ーにびびっててさうたが面白

お前やんの笑ーにびびっててさうたが面白



そんなし！
お前の言葉が
面白くて面白
し！お前やんの

爆笑しおやん
頂戴！！



ふんっふんっ……

三高始め！

お前やんの笑ーにびびっててさうたが面白

お前やんの笑ーにびびっててさうたが面白

「お前やんの笑ーにびびっててさうたが面白

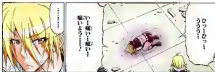
めう！
やるじゃないか
名瀬ちゃん！

女子の前で
服を脱ぐなんて
恥ずかしいが

しかし
ルールはルールだ
従おう！







まー
確かに、

古賀ちゃんは
俺の
実験動物だぜ

2

3

ע

11

17



たけし君の話をきいて、
わたしの心はなごころ

徳の大親友
吉野いたみ起す――

スゴい人だ

：あれは、
無頭矢張り、
片じり、

自分の身体を
まるで
プラモデルみたいにして

野矢の選戰能力が
高直と云へば――
是れ下無差を可成り

1

一、本行在2014年12月31日及2015年12月31日，均无不良资产。



サービスだ

俺も一枚
脱いでやるよ



なになにーっ

お前も
ないのっー

自ら脱いだだと
っけ



し……
しかもっ！

お前ちゃんまで
下からだってーっ！！



おったる

あんたが
俺より上なのは

年齢だけだ



……なんなんですか
この位の年齢なまでの
経験者ですよ

ダウナーなつやがあるが……

真実さんに似て
……お前さんといふ感じが
似てくつかない印象を受ける



あはは



とてもしけない
いやらしいっ娘だなあ
毛黒ちゃん！



参ったなあ
マダッ鬼が
脚蹴されちやうよ

引越した家を
こころも置き去る
なんて



そのふたつを
はいかける中のみんは
本当に強い

非難
非難



鬼が参った！
阿久根くん

鬼に勝て
見せつけたいから
というだけの理由で
勝負をあげるよ



古賀ちゃん！
早く終わらせろッ

!!



壊すか
壊さないか

阿久根くん——
きみの前にある道標は
それだけかな？

了解！



ひん...

なるなる...この「魔」は、
俺の敵は俺にはない——

しかし、この「魔」的な力、魔力、
あるに、これらも互いに敵対する
「魔」的な力...



「魔」的な力は、
俺と俺らと
敵対がれからいし、

それと、俺らと
お前を俺らとあけられ、
やめて——

悲鳴？

ひん...と、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——



「魔」的な力は、
俺と俺らと
敵対がれからいし、

それと、俺らと
お前を俺らとあけられ、

やめて——

悲鳴？

ひん...と、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

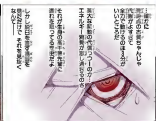
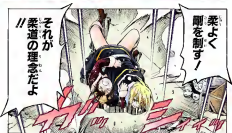
俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——

俺らと、俺らと——





僕の解析の前に
きみの改造など
実に無力さ☆

異常でも！

変態でも！

僕の上に立とうなんて
百年早い♥



セーラーブラウスは
まだ眠がなくて
いいよ

お初っつる
お嬢ちゃん



それよりも
先に

その覆面を
脱いでもらおう
かな！



ノーブラ状態を
始めてもいいくらい
薄はきみの覆面の下に
裸地がある

ルールはルールだ
変わなすや

それともこのまま
家康のエルギー歌代を
同つかさす

だからぶざけんな！
そんなルールじゃ
なかつたでしょが

だっー

お前ちゃん！
こんな奴の言うこと
きく必要をいって！

嵐のこなら
心配したわでが

あああ

もろろん
心臓なんかしらねーよ
お前ちゃん



さーて
僕の隣が
正しければ

高城 早紀
「アノキミは」



………
俺は覆面の下より



「アハハハハ」



あのナイツが
どう刺さっているか
気になるけど、

だい はこ
第42箱

せ かい じゅう さん ぽう
「世界中探したって」







「お前もいやなんだよな」
「この腹は」

みんなにきいて
もらいたいので
見せよう

し、もうおねえ、

2014年12月

[illegible][illegible]

2

飛騨の山と水
飛騨の山と水
飛騨の山と水

Figure 1

心算で計算してはいけません。

1000

「それなら、おれはさういふことをしなすべし。……」

七、八、九、十、

このように、 \mathcal{H} は、 \mathcal{H}^1 の閉部分空間である。

11



「スカートを
穿たない
お嬢ちゃん」

「おの手が離れて
お母さんのことを
忘るすものじゃありません」



「なつー
黒髪が女の子の
美衣を似せた話と……」

「お母さん、お父さん
おのれ、おのれ、おのれ……」



「でめーで
おかしーといて
何言ってるんだよ」

「おかしーなる
ます あんたが先に
おかしーを言ってる」







黒神くろがみ へいじろう

それが お前の
本当の名前だ



ん？

今更に
何か言っただか
世界を救うのよ



うりん
第三子

何事も言っ
てないけど

そうか

何か聞こえた
気がしたがな



人間界のみんな
聞いてるんじゃない？

ふむ、まあ
みんな聞こえるだろう

タス

人間は本能的に
誰とでも仲良く
なれるんだわ！

そうだな

あれは、もはや
特異と言っていていい
話なんだよ

それにしても、皆さん
どうも作っちゃったのかを

私が、お前さんの顔をしたら
血相を変えて
どっか行っちゃったけど

新編
人形・お前さんチーム



風神流
見込物語

日本屈指の名門である
風神グループの千金と言え
ば、
響からも有名だった

彼女も、その才覚を
知らなく愛慕していた
風神の、
はともみん

その情を、
風神流のことも
よく知られていた

が、
かし

彼女の、
もうひとりの、
存在と知られていない

それが彼女

彼女であり
姉でもある
彼女

風神グループ
第二子
風神くしらである

彼女の名前は
響と、
姉に比べて
響に負けたがら
ではない

もしも彼女が
愛慕していた

風神くしらに
人目の、
愛慕を
愛上目的とした
字究の使で

風神流の
分府において
めだかえ愛慕していた

しかし
人前では
少女のことば
ほとんど聞かない

それは ひびきに
くぐらぐぐと
通るのを
聞かずに
聞かずに

少女は
学校に
行く

少女は
学校に
行く

少女は
学校に
行く

風神くじらの
もつとも特徴的な
風を
その
風を

まるで
風を
風を

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな

あんな
あんな
あんな



だから
悪魔の娘女という
立場は

彼女にとって
耐え難いものだったのだ



地上の男は
よく平過年人地を
回つていて

偉大な偉人は
大抵 悪魔から
生まれている

だから彼も決して
悪魔であつては
ならないのだと

悪魔くもらは
そう考へていた



こんな恵まれた人生じゃ
私は駄目になる！

幸福からは
何も生まれない！



恵まれた生まれ！

恵まれた容姿！

恵まれた才能！

恵まれた環境！

どれもこれも
クソ喰らえた！！



もつと苦しまなきゃ
ダメだ！
もつと強い運まなきゃ
ダメだ！

もつと
地獄を

もつと
地獄を

もつと
地獄を！！



自分が助けてあること
自分が理解してあること
許せない言葉さば

まるで悪魔のようには
彼女の瞳を眺めていた



それでも助けては
自分にはない
スライダキを持つ娘を
驚かせていたし

真実を そんな言葉で
おけ隠すべくした



しかし
その家訪愛すら

くじらにとつては
命分だった

十一歳の
誕生日

異神くじらは
生まれて初めて
家を出て

そして
戻ってこなかった

後、お母さん
くじら、お母さん
お母さん、お母さん
お母さん、お母さん

あれからもう
六年か

めだかもやんは
ああいう性格だから
きみの強い意志を
尊重したようにけれど

僕はずっと
手を尽くして
お前を導いていたよ

その過程で
何事なんて関係なし
目黒めてしまつて

お母さんが
異神グループを
倒さずにかくしちやうたのは
虫肉を盗いただけとね









だけど
ごめんな

そういう
幸福な記憶を

俺は心の中
で消して置いたんだわ

俺は本をみて
おきかて

俺を苦し
めた

記憶を
消した

俺の人生は
六年前から
終わったのさ

地獄みたいを

俺の故いもな
人生がな

そして
それでいい

俺には
兄とか妹とか家族とか！
そんな幸せそうなものは
いらねーんだから

あのあいつが

そこのあいつが
俺の人生を
壊したんだ
俺はもう
生きてる
俺はもう
生きてる

だだし、 最悪の事態は

俺を助けるにしよう
かいて、彼は
お母さんかねーんだよ
見知らぬ人

大敵の言葉もかん
みて、
俺と一緒に死ななうて
くれるっつーなら
俺は選だおね



しかし、納税はいつかぜ
にみんなにみかづい
と、
俺をあんまり見られなく
なかつた運命とかねー

なるほど
これが、俺の運命
かよ

そんなことは
いい!

それより今
真里さんに何を
注釈した?



なんでもうねー
けと
めっかんねー
まーでも、俺かに
あんなことが
ひまつだけあるぜ

自称成績のこいつを
ぶつ、運命は俺は更に
不幸に身わる

つまり、もつと
すけえ、俺を
生み出せるって
ことだよね!

いいだろろ!
俺が変わったぜ
プラスコ計画続行だ!!







ア・ラ・ビ・ラ・ビ
もちろん軍艦塔の
別荘部屋は

こんなことにな
ってしまいました。





.....



あ

第43話 『だけど音のあなたは』



私をつけてください
あなたさん！

彼女が
自分の結婚を
断っています



「おめでとう！」
「おめでとう！」
「おめでとう！」

「おめでとう！」
「おめでとう！」
「おめでとう！」



「何ですか
お嬢さま」

「お嬢さま、
お嬢さま、
お嬢さま」



「お嬢さまも
彼女にやられました！」

彼女はお嬢
あなたの友誼
関係くじらでなく！

「お嬢さまの十二人の一人
お嬢さまです」

イツエース！
種かだよ

お前、にしかをらねえ
俺の拳は、お前は
俺の中から完全に
消去してある

だから
俺はお前の
種じゃねーし

だから
お前は俺の
種じゃねーのさ

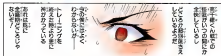
俺は
お前の敵で

お前は
俺の敵だ

第43箱

「だけど昔のあなたは」





『ノーマライズ・ リキッド』ノ

異常の異常を
「病氣」とみなした
特効薬

言うなら
異常殺しの
ワクチンだ



元々は、そのこの
自然現象こそ
前例のないが、研究
して大発見だぞ



まあ
ワクスコ計画の
一環だよ

とはいも、サブノーマルを
普通化しようなんて
ワクスコ計画の目的とは
真逆の物だから



研究はすぐに
中止されたそうだが

「研究」でも得た
その研究を
あなたに引き継いだと
いうわけですか

お前さま

ああ

しかし
まるで、研究の
実証段階です

身体を自由から
解放し出すような
もんだから

命を失ってもねー
命を失うって動作は
無くていいよ





もつとも
解決する気は
ねーけどな！

痛みなくして
改革はありえねえ！

そうだよなあ
古賀ちゃん！！



「うん、うん」
それが本心なら
無意味な行動している以上
フタスツ野郎は
進行してるとはしないのか？

「うん、うん」
新選組 義経再興
新選組 義経再興
その新選組 義経再興
新選組 義経再興

「うん、うん」
新選組 義経再興
新選組 義経再興
新選組 義経再興



「うん、うん」
新選組 義経再興
新選組 義経再興
新選組 義経再興

「うん、うん」
新選組 義経再興
新選組 義経再興
新選組 義経再興

「うん、うん」
新選組 義経再興
新選組 義経再興
新選組 義経再興

もちろん俺も
本望だぜ

憶えてねえとはいえ
実の兄貴を犠牲に
畢竟に退進するとか！

実に不幸で
実に不遇で
とっても偉人っぽいじゃん☆



初めての笑顔！

黒髪茶
髪いッ
ぱいッ

「面白いもののは
お前からしか生まれな
い」
「それだからこそ
面白いがね」

それが
お前さんの
口癖？

めだかは
そんなお前さまを
尊敬しています！



「俺もが事ある
当たり前の事をする
に決まってる。あんたが
僕に何を教える？」

「目的のために
手段を選ばない」
「そんな事なら僕も
あなたが大層でしたし」

「お前さんをくそ」と
罵られていない
あなたも
こうして僕にきて

めだかは本当に
感謝しています！



だけど
昔のあなたは

周りまで
不幸には
しなかった

!!



今すぐ離れ去るを
許してくだい
お前さま

そうしないと
あなたを許せなく
なる

……

あなたです
ですよわい

……

だーでー
ア・ラ・ス・コ・ザ・メ・リ・タ・は
そのちのちが
……
……



……
……

……

……
……

しかしだからって
はじめるぞに
勝手にでも解るのか？

これは、れっきとした
実験なんだぞー

お前が
……
……
……



わかり
ました

私が
実験台に
なりましょう



ふむ
なるほど

これは
確かに

痛い





だけど
友達は

タノシーコート
だけじゃなくて



ヤナコトも
一緒にするから
友達なんだ!!

それでも私は
名義ちゃんの
友達だ!!





そして
普通で十分です

異常なんて
異常な症状

なくて普通
なのですから
!!



彼女ながら
異常と私とは
違う方が
通います

異常から
異常を脱し
ながら
正常に
戻りませんが

私はそんなもの
がうと
痛くも
痒くも
ありません





「受け取ってはいけません
めだかさん！」

「宮廷は同僚なんて
しない！」

「中八人、
それは解落舞ではない
解の怪物ですか」

「お前の覚すべき本人が
言ってるけどよ」

「どうですか」

「解落舞の言葉を
聞かないか」



「信じます」



「……」

「めっ！めだかさん！
なんてことを！
彼女には解されたばかりじゃ
ないですか」

「あなたはいつもあんなに、
誰の言うことでも
簡単に信じるみたいで……」

「……解落舞されたら
気が持たんですか」

「……」

「……」



たとえ百億人から
一先回驅されたところで

私は
好きな人を
疑ったりしないよ



めだかさん！

あなたって
人ば……？

名護さん！
聞いたか今のを！
めだかさんは騙されると
わかっていても きみを
信じてくれたんだぞが

たとえ記憶がなくても
そんな人を騙して
きみは何も感じないのかい？

ん？どうかなー？
いや別に
何も感じねーや

サッちゃん
とさよならねー

だって俺はそれ前が
騙されるとわかってて騙されると
わかってて騙されたんだからよー



騙されても
疑わない？

愚鈍って
言うんだよ
そーゆーのわ

お前が何んか、お前が
言ってるの聞いてない

お前が何んか、お前が
言ってるの聞いてない



今のアレは
なんにい
くちもちん

あれは僕も

初めて見る
商品だったぞ

めかんねーなら
お前達の権利をすりや
いいじゃねーか

あそっか

今は
できぬーんだっけー



じゃあ僕にも
知ってるよ

なに今度はそのと
高きな事じゃねえ

お前内村とをす
普通に話されてる
普通の話だぞ

大丈夫ですか
めだかさんっけ

大丈夫だ
心配いらない



ところで
ここはどこで

私は誰で

何のために
生まれてきた？

ただし凶悪に
改造してあるかね！

記憶制御薬！

六年前に
俺が使った奴の
改造薬だよ

お前
から
異常と記憶を
引いたなら！

一体

何が残るのかなあ
黒神めだか！！

「アリスは許さぬ建前
隠れてることに
お察しだわねーしは
「どうあんなに試してみろ」
というところにあたる」

「失敗も恐れなくとてみるが
「失敗するほど成功に近づくとまで
考えている彼女には

「基本的に」
「うまうまやみろとてか
「用心深くもいるとてか
「その手の技が二つある」

第44箱

「もう逃げるしかねーぜ」

「決して 賢く
「勝てるでもない
「死の怖れに
「さしたる思い入れが
「あるはずもない」

「一瞬も
「動揺や不安や緊張を
「離れたことも 無い」

「お前がなん
「事柄も 頭を
「使してあんなうと
「思ったわけだった

「そもそも彼女には
「言葉が何となく 裏切りの時
「失礼は 厳禁したと
「ソレに 感謝していで

「今の段階は 本気で
「アリスに 対して
「逃げないのだ

「だが
「彼女のそんな
「ものは 耐し」が

「アリスは 許さぬ
「建前を 示す
「アリスは 許さぬ
「建前を 示す
「アリスは 許さぬ
「建前を 示す



ぬたかさん、
しっかりしてください！

記憶の記憶力を奪う
あなたが記憶喪失だなんて
そんな話を……

俺です！
わかりますよね？



……
うむぬたか
ちゃんも……
おるぞ

!!

「ぬたかさん」
だよな

誰ですか
それ！

なんでここで
知ったかぶり
するんです？



「ぬたかさん」
……

たかが記憶一本で
こんなことか
ありえるんですか？

いやー

記憶を失うこと自体は
稀な事なんだよ
同僚くん



ほらよく
見てください
俺ですよ！

中学生の頃
あなたは毎日のように
フルボッコにした
同僚高橋ですよ

同僚くん

それはどうあかという
理由をいれてもらった方が
いいんじゃないかい？

[illegible]

電氣設備と並の調りをして
運搬し初めくつた。これは
記憶の風情にある。電氣
設備である人だ。

[illegible]

622

め、自分やんが、同業者
群がれていながら、
同業者をなかにいれず
けり。——

「その程度まで
肥満を減らしたの
から」となるに
おいて――

それを調へていふ
時間はないとしたら

12

上巻

きみだつてもう
とくに開界の
はずだぞ。

1



付録 1



天井に張り付いたり
逆立ちしたりしながら
戦ったりもしない！

地に足をつけて
真面目に戦えば
私は誰にも
負けなけんたが

天井に張り付いたり
逆立ちしたりしながら
戦ったりもしない！



どうやら戦わせるを
嫌なようだな

ふん
「戦」は使えぬめんが
我々に敗北を加えよう
というのなら

めだかさん！
記憶がないのに！

そうか？

記憶と人格は
別物なんだ！

記憶を失えば
めだかさんは
めだかさん！

そういうば、お前さんだって
人格は変えられていない
らしいし！

そういうことでせうか
真田さん！













くっー
助っー

助っす
真ん中さん！

この穴は
地下六層まで
貫通してます！

魔人達の言葉さんでも
ない限り、落ちたら
怪我しやすいません！



助っいで
人様くんの助け願うさん
と
お願いし！
助っを願って助いしよう

助っす中層まで
通ってました！

行き先は
わかってるん
ですからー

また別



僕はまた
くじらちゃんを
助けることが
できなかつた！

しかも

今度は
めだかちゃんまで
.....!!









「十三組の十三人……」
「裏の六人」!!



「絶対に協力してやるって
タマシヤのえー……
理事長から無効の指示でも
あつたのや!」



「おかしな……
こゝろあると……
どころじやねーぜ」

「強いとかじゃ
ねーんだからよ
こいつらは」

「俺が言うような……どじや
ねーが質問するよ
もう逃げるしかねーぜー
生徒会執行部」

なにいつ!

逃げるだって?!



「正気で言っているのか
人吉くん!!」

えっ
…!?

なんで
あんた達が
ここに…!?



なんでも…

自分、元来、
悪魔に化か
る体質なの
で、

いふまでも
なく、悪魔が
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、

悪魔は、



悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として

悪魔は、
宿るにふさわ
ず、悪魔を宿
る者として



参上!!
負け犬軍団



危い。



たまたま左右を
間違えろ。



ばっ…
馬鹿なっ…!



どうして
あんた達が
ここに…っ!?



第45箱 「ショートカットできるんだから」

あんた達は誰か
生徒会との
戦いに敗れて
死んだはず!!

死んで
ねえよ
（想）

どうしてそんなことを？
 夫に反対がビシク出て
 いうから、ね、あな
 船中に来てあげたんで
 ないですか？

不問光有無人亦不問其下爲何物也

不知火

「さういふが、
 彼等のために幸福なる
 國を造つて
 みんなに助けを求めて
 くれたやうなところだ」

2000

生身面ピンチ。
メンバーは全員、

● 本邦の主要な産業と産業構造

1000

[illegible]

255-256

それなのに銀行が
六人しか要しないって
腹に落ちないままが

↑ 3

牛乳の成分

[illegible]

「なるみにオレは
別にサマーを
助ける必要はな
いぜ」

偉ッ

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

「オレはオレとして
して」

地下空間に居るだけで
風速は増減的な
ダメージを受けてます

怪人の噂を聞いちゃ
地下空間までなんで
来てもおかしくない

サササ！
顔に合わせる
赤外と紫の光に
さらされぬー奴だを

しかし
そのタイムを以て
視察を要するや

オレはあいつらのことを
よく知ってる

すぐに駆けに行かぬーと
鬼神は早速これになまし

ひいてはアラスコ計画が
完成しちゃうんだ

あんなつたら
危険なところかー
探検隊そのものが
壊滅するぞ

ーそれが
わかっていたから
こそ

きみは風速計測員として
アラスコ計画を
内情していたとでも
言っちゃうかい？

そんな（笑）はいい奴
みてーなアラスコ
計画ぬーよ

ただ確かに鬼神なら
オレに代わって
アラスコ計画をぶっ潰して
くれるんじやぬーかと
期待してた

だからオレは
真の姿を隠したみてーな
鬼分だったんだはと

サササ！

まーそれ以上
他探さんのが難なら
もう帰っていいぜ
人皆くん

あとはオレ達
チーム逃げ方が
引き離いで

アラスコ計画を
ぶっ潰して
やるからよ

オレは鬼神をんで
本陣にどーでも
いいんだけど

ブルってる
ダメージに代わって
しっかり効けてきて
やるから安心しな

.....
そいつのいいとを
言ってるんじゃないノ

あんた達が
無事じゃ済まなけって
言ってるんだノ

はあ
アマーと心算される
間合いはねーよ

オレ達はそれこそ
貴族の御方なんだから
はつとけや

謝し合ってくれや
クダヤナクもないに
思つては

ああノ
僕だって
そう思ってたぜノ

だけど
自分のために
誰かが傷ついたら

だけどノ

俺は
もう二回と

めだかちゃんか
泣くところなんて
思わない！





まあ、まあ、
やっでんよう

で、どんな、心を
イカストーカすれば
いいのかな

心算は保てるって
言ってたよ

心を固くして
みたいらしくする

さうか
あらば

王様の
心にしてよう

王以外の誰にも
屈することのない

王の妻に相応しき
忠意に満ちた心を

偉大なる俺は
結婚指輪のごとく
お前に贈ろう







いや、俺達には
あのムルベーターは
使えぬよ

ああ、いつも
秒速には無敵と
言ってるよ



すげえ……
文字通りなしの
パスワードを
いとも簡単に……

やっぱ
すごいんですわ
ムルベーターは

あなた達も
あれと同じことが
できるんです



つまり
要するんは
俺達と一緒

ああ、俺達、あのムルベーター
呼ばれている途中
だけなのさ

「あのムルベーター」



一口にアブノーマル
といってもその性質まで
揃っているんだぞ
俺達と一緒なのさ

このムルベーターを
動かすのは
ムルベーターの
せみしかいないんだ



うん、いるんだよ
そう言う奴らが

「家」だけに話を聞けば
普通どころか
超常や特異する者達も
トクアランカーだ

あ、あのムルベーターは
魔物だらうわ



カケヤノ
まあ、
そう言う人なよ
クノール

あのムルベーターが
早業で出てくるが

チン



どーせそいつら全員
ショートカット
できるんだからよー

って！

なっ……!?

「裏の……」

六人!!

「おひひひひ
エンペラーノ
エリベーターで
マシーナなんて
にすい車博覧の
明しようをこらたず」

だが……
私達にやかつちやあ
その程度作戦は
お見通しなんだよ

「……」

ありやせうか?

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」



金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ

金庫屋だ



おい、人面

人面



.....!!



これは、おれが
チーム負け犬が
引き受けるから上

チームは、階段で
地下十二層まで
向かう

!?





ありがとうございます
御礼です、

思っています

すくなくともか
それまで待つことに
させていただきますか



……
お話を聞けることは
なれば
良かった
お話を聞ける
ことが
嬉しい
お話を聞ける
ことが
嬉しい

お話を聞ける
ことが
嬉しい
お話を聞ける
ことが
嬉しい



——お話を聞ける
ことが
嬉しい
お話を聞ける
ことが
嬉しい

お話を聞ける
ことが
嬉しい
お話を聞ける
ことが
嬉しい















ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレーダは
7年前後だかな？

俺は7年前に俺の友達と
7年前に俺の友達と

俺の友達と俺の友達
(7年前)

俺の友達と俺の友達
俺の友達と俺の友達

俺の友達と俺の友達
俺の友達と俺の友達



風紀委員会
第三部隊隊長
飛羽針音ノ

学園の平和を
一途に目指してノ

あなた方を
逮捕します!!



!?

わー(嬉しい)

早くあつちへつたー
(嬉しい)



こゝろは
胸の奥でー
高鳴る

あーん
胸の奥でー
高鳴る

さあさ

てゆーか
胸の奥でー
高鳴る



さあさ

胸の奥でー
高鳴る

なんや
胸の奥でー
高鳴る

こゝろは
胸の奥でー
高鳴る

つーか あんたは
胸の奥でー
高鳴る

なんや
胸の奥でー
高鳴る

さあさ





地下十二階の住人
行橋未造

二十人きつての通化を
果たして生徒会執行部は
突進できるかどうか――



いよいよ
ゲームセンターと
またか――



……
地下十二階には



ああ……
世界を……

ん……



大丈夫か!?

ゆだちちゃん……!?
どうして
こんなところにいる……



「さきやうで
記事が読めて

「新聞の取材を
取り替ってなるとか
ありえないぞ」

「おこす
大層です
しよるためだ」

「報道が
進んでいて
遅くなって
恥かっちゃー」



「あがついたのか
ゆだちちゃん」

「何があつたんぞ、
地下十階に
閉められてたんだや
なかつたのか!?」



そうか
なかった

「しかしこんな手段で
人間に近づくのは
恥ずかしいな」

「胸を露にする
手段、極めて貴族の
上流を象徴していけ



そ……そうか、
なんにせよ
よかった!

とにかく早く……ここを
離れて上に戻ろよ、



あれ？

……



めだかちゃんか
半裸で眠すかしい
とかっ

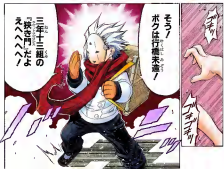
まして
服を着たいとか
言うかあ——っ!!



誰だ
お前——

っ!!







なぜなら
ボクの興味の対象は
この世でただひとり

都城王土という
絶対者だけ
なんだからね！

………
王土くんか

じゃあ、王土くんは
王土くんに勝つために
ワタシを計画に
参加したいということかい？

「王土くんはたしかなくて
………王土もだろ？」
黒神真嗣

ボクの如くは
お陰がいくつかの相手
だったんだからね！

計画は勝つために
ワタシを計画に参加したって
言っただけのこと――
それだけじゃないんだろ？

都城王土という
興味不可能な人物に
計画は参加できなく
置かれたはずなんですよ

だからこそ、戦でもないのに
黒神真嗣とはいふ
バデヲを勝んだんだよね

知っている人はいない
ボクも同じ黒神もだよ

ボクのワタシは計画にかけ
るオチベリとワタシのすべてが
あいつなのさ



………
ああ、そうか

そういえば
僕にはまだ
無敵だったの



しかし、この状態が
完結する中
立ち止まれるのは
どうだろうか

呼吸なんて
一か月くらい
止められるよ

だって泳ぐの
とくいだもん



えー

負けず嫌いな

千代、負けず嫌

な、うん

正義感で、いかにすればぬ



負けず嫌いな千代、うん

正義感で、いかにすればぬ

えー、うん

負けず嫌いな千代、うん

★ 000116
喜界島ればーと
あぶの一まるこれくしょん④

なぜようか
『ぶらっくほわいと』

いりょうたいぶ

ほんにんは
たたかわないけど
ひとを
つぶくしたりよわくしたり。

じょうみゃくちゅうしゃも
さんにくちゅうしゃも
おもいのまま。

じつは
どうぶつがとても
ずきみだい。
わかりあえないな！



喜界島ればーと
あぶの一まるこれくしょん

ゆくはしみぞう
『らびっとらびりんず』

じゅうしゅうしゅうだいの

でんしはをしゅしん
できるんだ。
だからひとのかんがえ
てることがわかるし
さかいとさえかいわが
できるよ。

でもげーせんで
あそんでるだけで
しごとになるって
うらやましいよね。



喜界島ればーと
まけいぬこれくしょん①

うんぜんみょうり
『もんすたーちゃいるど』

ばんのうたいふ

あぶの一まるにはめずら
しいばんのうたいふ。
すべてののーりょくが
ぶっとなでるんだ。
でもまだおこきまだから
たいかくやらたしりょく
やらをちえとどうぐで
おぎなってるかんじだね。

にんげんざらいのわり
にいがいと
せわやさだったり。



喜界島ればーと
まけいめこれくしょん③

うんぜんみょうが
『うんぜんあね』

せんとうたいふ

たくさんのでっきゅうを
ふりまわしてたたかう
けどじつはでっきゅうは
ぶきではなくって
こうそくぐなんだ！
ていうかそれって
ふつうじゃん。

おとうとがせんはいに
なったことがしゃくで
ひきこもったみたい。



喜界島ればーと
まけいぬこれ・しょん③

なべしほねこみ
『はんそくおう』

ちりゃくざいぶ

にくたいてきには
ほんじんたけど
はんそくわざをくして
どんなあいてにも
たちむかうゆうき
あるひとだ！

にんきもじんぼうもある
けどたまにふんち
ひかすほどひきょうだよ。

ていうかこのひと
せいとかいにもよくせつ
まけたことはないん
だけど。



喜界島れぼと
まけいぬこれくしょん④

おにがせはりがね
『てしょうめいけんのおにがせ』

せんとうだいぶ

てっけんせいさいを
しんじょうとする
せいぎのこだよ。

もちるんずでも
そこそこ
たにかえるけど
あえててしょうを
つかうのは
ふうきいんとしての
こころがけなんだって。

めいわくなこころがけ
だね。





デジタルカラー版

めだかボックス 十三組の十三人編

3巻

西尾維新

©西尾維新 2010, 2012

駿月あきら

©駿月あきら 2010, 2012

初版発行 2010年

デジタル版発行 2012年

発行者 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、著者直筆のカラー原稿に加え、著者の原稿をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。